

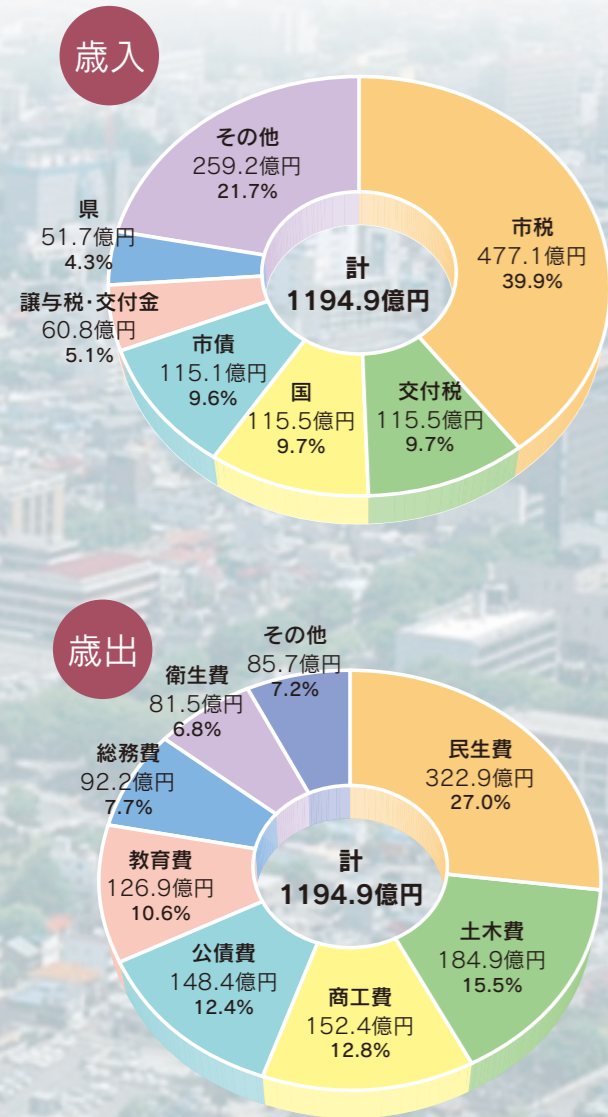
中核市移行による市民サービスの充実と生命都市いきいき前橋の実現に向けて

21年度予算と事業の概要

平成21年度の各会計予算が先月の市議会第1回定例会で可決しました。総額2,144億5,191万円。新年度の主な事業や施策などについて紹介します。金額の1万円未満は端数整理しました。また、本市ホームページにも予算についての詳しい資料を掲載していますので、ご覧ください。

問い合わせは 財政課 ☎898-6542

一般会計予算の内訳



市税＝市民税(個人・法人)、固定資産税、都市計画税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
交付税＝地方交付税(国が自治体間の財源調整などのために使い道を定めず交付するもの)
国＝国庫支出金(国が使い道を指定して交付する補助金や負担金)など
市債＝市が特定の事業などに充てるための長期的な借り入れ金
譲与税・交付金＝主に国が国税の一部を地方に交付するもの(地方譲与税)など
県＝県支出金(県が使い道を指定して交付する補助金や負担金)など
その他＝使用料および手数料(体育施設使用料や住民票交付手数料)や繰入金(基金繰入金)など

民生費＝社会福祉、身体障害者・高齢者・児童福祉、生活保護などに要する経費
土木費＝道路の建設や維持管理、河川改修、街路事業、都市計画、土地区画整理、市営住宅建設、公園整備などに要する経費
商工費＝商工業や観光の振興、計量検査、消費生活対策に要する経費
公債費＝借入金の元金・利子の償還金
教育費＝小中学校、養護学校、市立前橋高、幼稚園、前橋工大、社会教育、保健体育などに要する経費
総務費＝市の内部管理、税金の徴収、支所の運営などに要する経費
衛生費＝健康づくり、保健所、ごみの処理などに要する経費
その他＝消防費、農林水産業費など

概要

市議会で高木市長が説明した予算概要は次のとおりです。
 ◆ 平成21年度予算は、昨年度からスタートした第六次総合計画を着実に推進し、「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、次の3つの重点施策を定め編成しました。①中核市への移行や富士見村との合併を踏まえた行政経営の強化②市民が実感できる「暮らしやすさ」の創出③生命

都市の実現に向けた地域特性の積極的な活用。また、昨年度に試行実施した行政評価の結果なども考慮しながら「事業の選択と集中」による予算の重点配分をこれまで以上に念頭に置いた予算編成に努めました。しかし、本市も世界的な不況の影響を受け、市民生活や企業活動は厳しい状況にあります。
 この景気後退の影響から、市税収入の減収が確実であり、大

変厳しい財政運営が見込まれます。このため、本市の21年度一般会計の予算規模は総額1,194億8,804万円で、対前年度2.6%減となったものの、中核市移行への対応や市民の目線に立った暮らし優先施策の展開など、市民サービスの維持、向上に努めた予算となっています。
 本市は中核市へ移行し、市民生活に密着した多くの事務を行

うことで、市民ニーズに即したきめ細やかな行政サービスを提供できるようになります。また、5月には富士見村との合併により人口34万人の新生前橋市が誕生するなど重要な年となります。本市の財政状況は厳しい状況にあります。しかし、健全財政を確立し「元気で楽しい魅力ある前橋」と、「県都前橋の再生」に向けた、新たな一歩を踏み出したと考えています。

市民の目線に立った暮らし優先の予算へ



議会で予算案を説明する高木市長

会計名	当初予算	
一般会計	1,194億8,804万円	
特別会計	国民健康保険	315億3,590万円
	老人保健	1億2,339万円
	後期高齢者医療	29億3,584万円
	競輪	179億2,652万円
	農業集落排水事業	10億411万円
	介護保険	182億958万円
	簡易水道事業等	637万円
	母子寡婦福祉資金貸付金	6,355万円
	小計	718億526万円
	企業会計	水道事業
下水道事業		129億8,669万円
農業共済事業		6億8,398万円
小計		231億5,861万円
合計	2,144億5,191万円	